

新年のごあいさつ

新しい令和の風を



八頭町長 吉田 英人

新年明けまして、おめでとうございます。

町民の皆様方には、ご健勝で輝かしい令和2年の初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政全般に対しまして格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、降雪の少ない穏やかな年明けとなり、例年になく降雪量が少なかったことから、農産物への病虫害被害、夏場の水不足等が心配されました。幸いにも農作物への影響も少なく、また、台風等の被害もなく、実りの秋を迎えることができました。水稲はもとより、町の特産品である梨、柿等は品質も良く比較的高値で取引されたところですが、今

後も八頭の素晴らしい果樹を新しい令和の時代に発展・継承していけるよう、経営モデル団地の整備などによる後継者の育成を積極的に支援していきたいと考えています。

さて、昨年の八頭町を振り返ってみますと、若桜鉄道観光列車「昭和」に続き「八頭号」が3月2日にデビュー。16日には、スズキの大型バイク「隼」をデザインした新「隼ラッピング列車」も運行を開始し、新たな若桜鉄道の魅力アップを図ることができました。今後もマイルールとしてより利用しやすい皆様に愛される鉄道としていきたいと思っています。

また、自動運転バスの走行実験では、八頭町と連携協定を締結しているSBDドライブ株式会社が、実際に運行しているバスと同じ車種で、現行のバス路線を走る国内初の実証実験を行いました。実用化に向けて乗り越えるべき課題はありますが、自動運転バスが地域公共交通の課題解決策になり得ると期待しています。

令和という新しい時代の幕開けとなった5月、麒麟のまち圏域（鳥取市・岩美町・智頭町・若桜町・八頭



町・兵庫県香美町・新温泉町）による地域の歴史的魅力や文化・伝統を語るストーリー『日本の海が風が生んだ絶景と秘境―幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」』が日本遺産に認定されました。地域の魅力を広く発信し、地域資源を点から線へ、線から面へと広げる広域的な取り組みを麒麟のまち圏域が一つとなつて進めていきたいと思っています。

子育て支援の関係では、平成24年にその方向性が決定された保育所・小中学校の適正配置計画は、4月に八東地域の保育所を統合した新しい「八東保育所」の開所をもって完了となりました。これにより子育て世代のニーズに応える多様な保育サービスが、町内すべての保育所で提供できることとなりました。保護者の保育料の負担軽減についても、国の保育料無償化の対象から外れる給食費を八頭町独自に支援し、3歳以上児の実質保育料無償化を図っています。

また、4月から放課後児童クラブの利用者の増加に対応する新しい専用施設の完成と合わせて、施設業務を民間事業者に委託し、専門的な知識やノウハウを生かした遊び・生活の場として、ニーズに対応する放課後児童クラブとなるよう努めています。

小中学校の教育環境の整備については、全ての小中学校の教室にエア

コンを設置、少人数学級によるきめ細かな指導体制やICTを活用した授業の実施、スクールソーシャルワーカーの設置など教育環境の充実を図っているところです。「まちづくりは人づくり」を基本理念に、子育て環境の一層の充実を図っていきたいと考えています。

現在、八頭町では令和2年度からのまちづくりの道標となる「第2次八頭町総合計画後期基本計画」及び「第2期八頭町総合戦略」の策定に着手しています。人口減少が進む中であつて、新たな地方創生のキーワードの一つが「関係人口」の創出・拡大ではないかと考えています。地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を広げ、定住に至らないものの八頭町に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の拡大を加速させることが必要です。

本年、八頭町は合併して15周年を迎えます。令和新时代の新たな風を起す年、八頭町が「ワンチーム」となり新たなまちづくりに取り組みたいと考えていますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、新しい年が町民の皆様にとりまして、健康で幸多き飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

